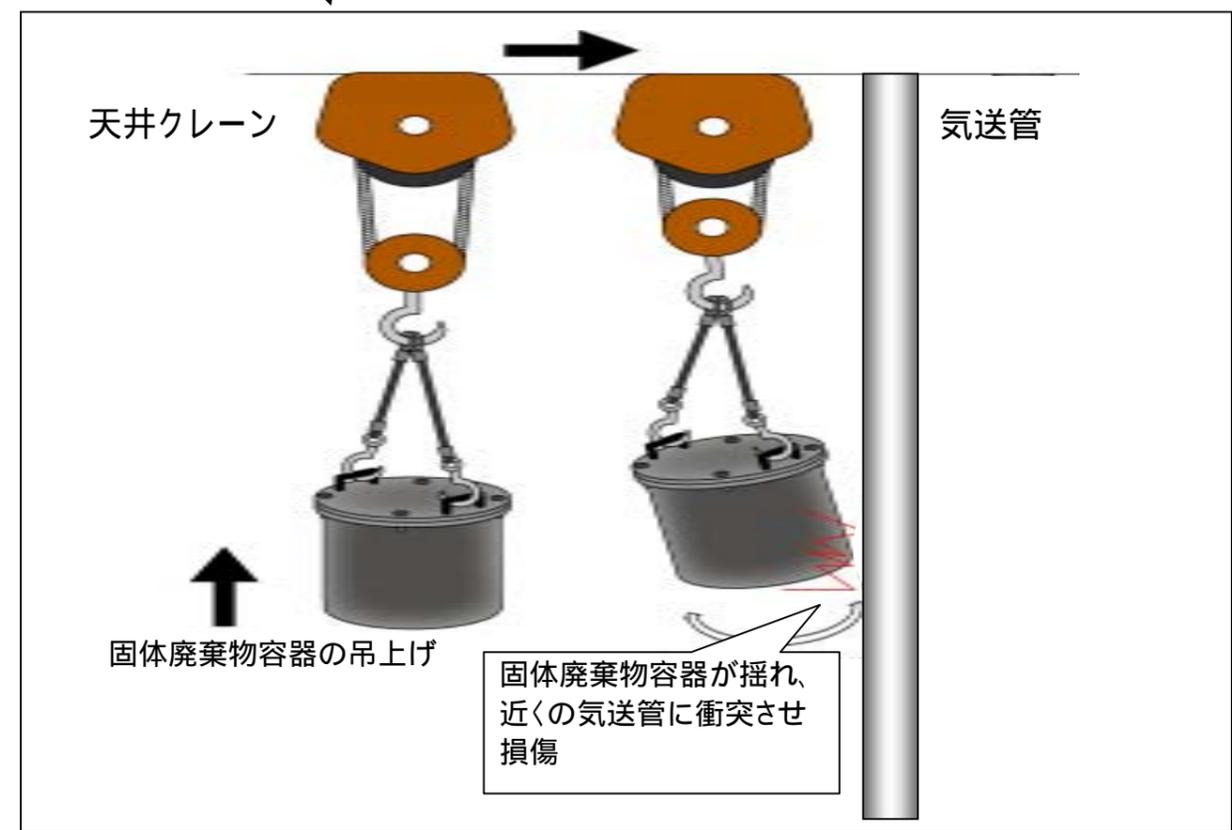
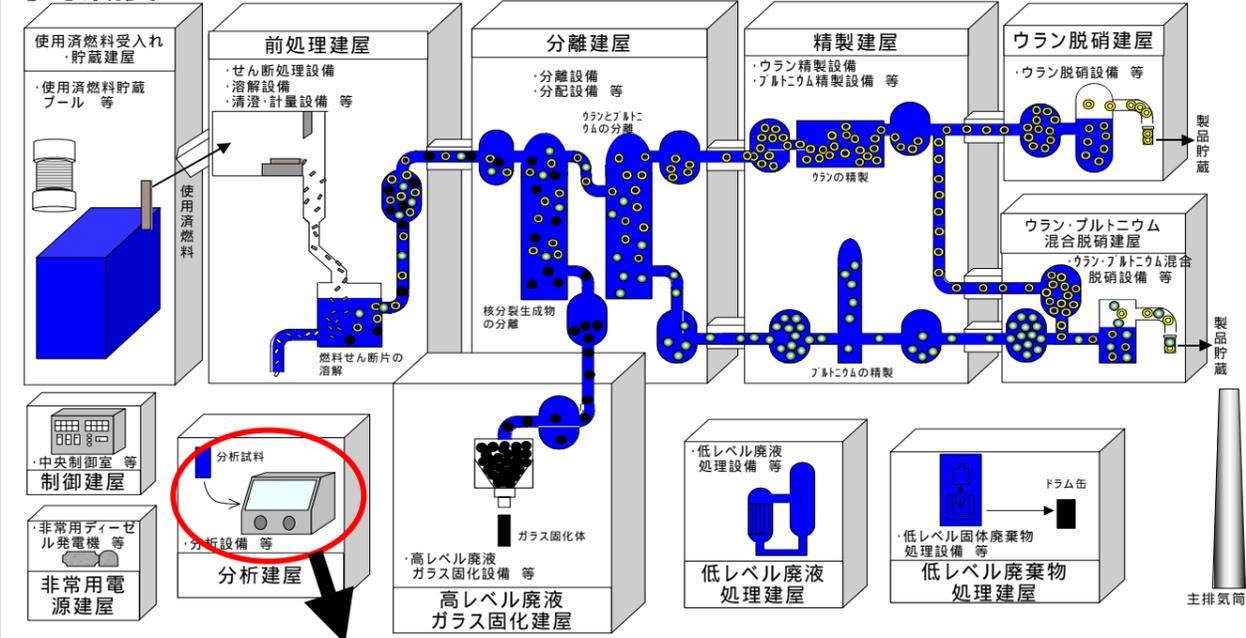


再処理工場が発生が予想されるトラブル等とその対応

(No.7 - 07)

<p>件名</p>	<p>クレーンによる固体廃棄物容器取り扱い時における気送管の損傷</p>																		
<p>事象の概要</p> <p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 設備の概要</p> <p>(3) 発生の状況</p> <p>(4) 概要</p> <p>(5) 原因</p>	<p>分析建屋: 気送管</p> <p>工程の溶液等の分析を行う設備の一部で、分析用の試料を採取する容器を試料採取場所へ気送(受信側を真空引きし、空気力で配管内の容器を吸引して移送)する装置。</p> <p>分析ボックスからの固体廃棄物搬出・搬送時</p> <p>クレーンにより固体廃棄物容器を吊り上げたところ固体廃棄物容器が揺れ、気送管に衝突し、気送管が損傷。</p> <p>* 他の建屋も含め同様の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p> <p>クレーンによる重量物吊り上げ時に揺れが大きくなりすぎる作業ミス。</p>																		
<p>事象による影響</p> <p>(1) 工場外への影響</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p>(4) 他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 固体廃棄物搬出作業及び損傷した気送設備の使用を中止することにより、気送管の損傷は進展しないことから、安全上の問題は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 損傷した気送管の復旧にあたっては、定められた放射線管理計画書に従って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>他工程への影響が生じる。 分析試料容器の詰まりに伴い、詰まり箇所を通る分析試料の気送が一時的に停止するため、気送経路を変更すること試料を気送できない箇所の場合、工程の運転に影響を生じる。</p>																		
<p>対応の概要</p>	<p>(1) 気送管からの放射性物質の漏えいがないことを確認する。</p> <p>(2) 気送管の損傷の程度を調査する。</p> <p>(3) 定められた保守作業手順に従い破損した気送管の保守を行う。</p> <p>(4) 作動確認等を行い、異常がないことを確認した後、気送を再開する。</p>																		
<p>公表区分*1</p>	<p>翌平日に公表(ホームページへ掲載)</p>																		
<p>情報区分*1</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> <tr> <th>A情報</th> <th>B情報</th> <th>C情報</th> <th>ごく軽度な機器故障</th> <th>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</th> <th>不適合等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等						
トラブル情報			運転情報																
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等														

事象概要



復旧方法

定められた作業手順に従い当該箇所の補修により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

影響の範囲の設備を停止して復旧

*1 「A 情報」:安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、「B 情報」:事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、「C 情報」:A、B 情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象